



特別賞

調査・計画部門



あいち生物多様性企業認証ロゴ、2022年度認証企業の活動

ネイチャーポジティブの実現に向けた企業参画促進の一手法の検討

株式会社ブレック研究所

中川有里・辻阪吟子・風間一・東広之・家倉凌

本作品は、ネイチャーポジティブや30by30といった、生物多様性にかかる国際議論や企業の役割の重要性の高まりを背景に、愛知県内の企業へのインセンティブを感じられる施策の一手法として、生物多様性認証制度の検討を行ったものである。

1.本制度が目指すもの

1) 多くの企業の参画を促す

企業にインセンティブを提供する制度として、中小企業でも応募しやすい「認証制度」を目指した。

2) 徐々にレベルの高い取組へと誘導する

多くの企業参画を促すため、制度の敷居を低くする一方、効果を高めるため、よりレベルの高い取組へと誘導する仕組みとして、通常の「認証」の上に「優良認証」の区分を設け、2段階の制度とした。

3) 制度設計

企業に特化した生物多様性の保全のための認証制度は、国内では前例がないため、制度設計にあたり、県内・国内・国際的

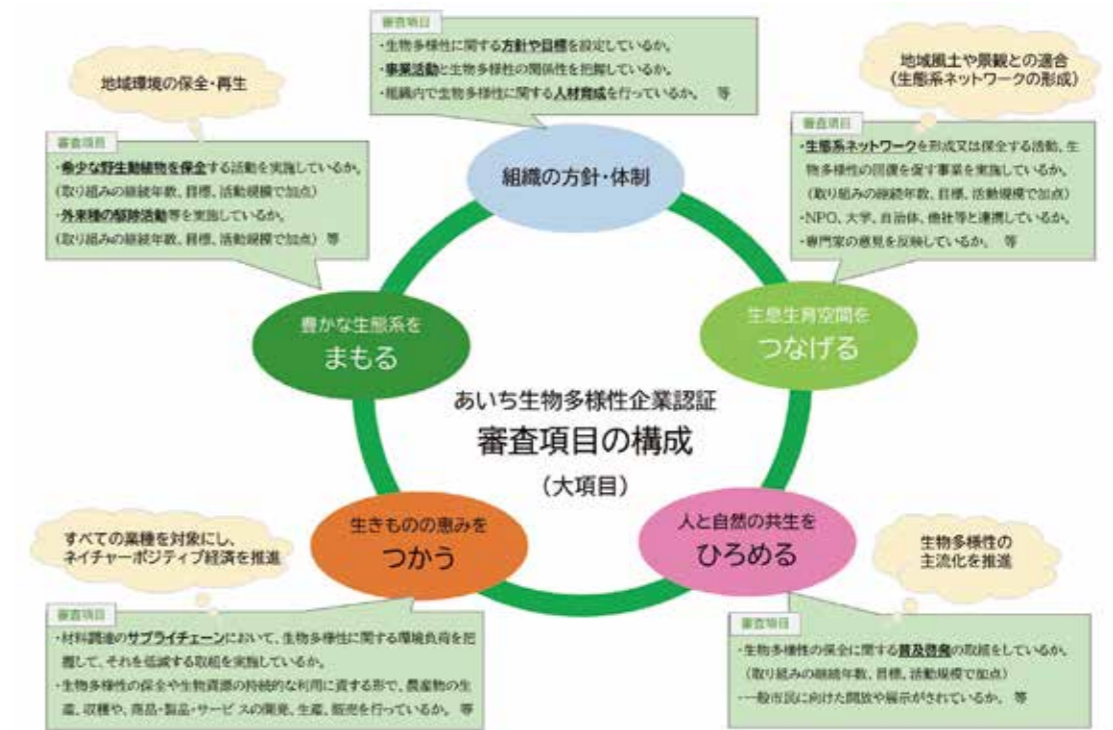
作品概要

作品名——ネイチャーポジティブの実現に向けた企業参画促進の一手法の検討
所在地——愛知県
発注——愛知県(環境局環境政策部自然環境課)
事業目的——愛知県の「あいち生物多様性戦略2030」の重点プロジェクト10のうち、「事業者の保全活動の推進」のため、企業等を対象とした生物多様性認証制度の検討を行った。
事業体制——株式会社ブレック研究所
事業期間——2020年6月～2022年3月

作品評

本作品は、愛知県の「あいち生物多様性戦略2030」の重点プロジェクト10事業のうち、「事業者の保全活動の推進(あいちミティゲーションの深化)」を推進するため、企業等を対象とした生物多様性認証制度の検討を行ったものである。
受託者は、環境省のガイドラインほか、類似事例の収集・分析、県内の制度との比較、海外事例における認証基準の確認を経て、導入方針を定め、認証基準の設定や諸資料を作成した。導入方針は、認証基準の大項目を「あいち生物多様性戦略2030」の4つの基本方針と関連させ、戦略との一貫性を持たせることであり、これにより県独自の認証制度であるという特徴を十分引き出している。
提出された説明資料は、業務のフローや認証制度の仕組み、委託者の要請とその解決策などが解りやすく示されているが、肝心の評価項目やインセンティブ、企業の実施例などが具体的に示されておらず、この点に関する意見も多かった。ただし、当該作品の成果は、ランドスケープの将来を示唆する重要なものであり、特別賞となった。

調査・計画部門



あいち生物多様性企業認証の審査項目と特徴

な視点から妥当で、全業種が対象となるよう留意した。

2.審査項目の特徴

認証の審査項目(大項目)は、「あいち生物多様性戦略2030」の4つの基本方針である「豊かな生態系をまもる」、「生息生育空間をつなげる」、「生きものの恵みをつかう」、「人と自然の共生をひろめる」と一致させ、愛知県が目指す「人と自然が共生するあいち」の実現に近づくような仕組みとした。中でも、希少種保全や外来種駆除活動、生態系ネットワークを形成・保全する活動等は、充実した取組が加点される仕組みとし、取組による地域環境の保全・再生や、地域風土や景観の形成が一層進むよう工夫した。

3.申請や審査の明確性・透明性を高めるための資料の作成

誰でも応募しやすく、かつ透明性のある制度を目指し、①申請から②審査の過程、③取組の継続の各段階において活用する、申請の手引書、Q&A集、審査のチェックシート、取組状況報告書例等、各種書類や資料を作成した。

4.制度の広がり

第1回(2022年度)の審査の結果、15社の優良認証企業と、25社の認証企業が選ばれた。今後も認証の取得をきっかけとした県内企業の生物多様性保全に向けた取組が拡大・発展していくことを期待している。